

やっぱり舞台は素晴らしい

城星フェスタにとって、舞台発表はやはり欠かすことのできないものです。今年の舞台発表も小学生の発表や生徒会の発表、又様々な部活動の発表と見どころがたくさんありました。

まず、ピッコラフェスタのみ又はフェスタのみの発表の紹介をします。「小学校のアンサンブル、聖歌隊」「家庭科研究部」「SSクラブ」「生徒会の動画発表」「理科部」「ミュージカル同好会」の全六つです。

「小学校のアンサンブル、聖歌隊」の演奏はどちらも聞く人を圧倒する力がありました。小学校の聖歌隊は高校の聖歌隊とは雰囲気は違いますが、人の心を動かすことができるのは同じだと感じました。

「家庭科研究部」の発表は、部活で作ったクッキーとお子様ランチの紹介でした。パワーポイントと動画を活用したものでしたが、写真や映像の中から香りが届きそうな程おいしそう、見ているとお腹が減るような発表でした。

「SSクラブ」は英語のクイズで講堂内を盛り上げていました。日本語なら簡単な問題も難易度の高い問題に見え、先生も生徒も答えが分かるととてもうれしそうでした。

「生徒会」が作成する動画は毎回おもしろいので今回も楽しみにしている、という声をピッコラが始まる前から何人かが言っているのを聞いていました。実際に今回の動画もとてもおもしろく、私の周りの人達はお腹をかかえて笑っていました。

「理科部」は先生と生徒を巻き込む大胆な実験で、見る人をはらはらせると同時にわくわくさせ、生徒達を盛り上げていました。

「ミュージカル同好会」の発表は『サウンド・オブ・ミュージック』の有名な場面を抜粋したものでした。幕間のインタビュでも「知っている曲で楽しかった」という意見や「大好きな映画の曲だから良かった」という意見がありました。

催しはいずれもすばらしく、発表するのが一日だけというのはいらないと思いました。↓

上：ピッコラフェスタでの聖歌隊の発表

下：シスターコーナーの様子



次に、ピッコラとフェスタの両方で発表した部活動を紹介します。これらは「漫画研究部」「吹奏楽部」「中高の聖歌隊」「軽音楽部」「ダンス部」の全五つの部活動です。

「漫画研究部」の発表は普段なかなか知ることができない活動内容を知ることができて、驚くことがたくさんありました。

「吹奏楽部」は私たちのよく知る曲がたくさんあり、講堂内はとても盛り上がっていました。曲内にソロの演奏もたくさんあり、一人一人がとてもかっこよかったです。

今年の「中高聖歌隊」の合唱は大阪星光学院の合唱同好会との合同発表でした。いつもと違った聖歌隊の歌声を聞いて新鮮な気持ちになりました。

「軽音楽部」には五つのバンドがあります。各バンドの選曲はもちろん衣装にも個性が表れていて、講堂中をそのバンドの色に染める力に驚くと同時にわくわくさせられました。

「ダンス部」は様々なジャンルの曲を選び、ダンスの種類もかわいくてほほ笑んでしまうようなものからかっこよくて息をのむようなものまで様々でした。衣装も曲調に合ったものに着替え、生徒や来客者などを魅了させていました。

舞台発表はフェスタの中でも生徒達の気分を盛り上げるという大切な役割を担っています。発表する側の生徒達もどうすれば見ている人達を楽しませることができるのか思考を重ねて舞台発表にのぞんでいます。来年もっと多くの人達に見てもらえることを願っています。

高一 M・Y

シスターのクッキー

毎年、フェスタで大人気の「シスターのクッキー」について今回は調査いたしました。

シスターのクッキー販売は二十五年程前から始まったそうです。このクッキーは、城星のシスターたちが作ったものではなく、北海道の函館、兵庫県の西宮、大分県の安心院にあるトラピスト修道院で作られたものを販売しているそうです。

トラピスト修道院は、観想修道会と呼ばれ、一度、この修道院に入ると、敷地内から出ることはなく、生涯、神様と人々のための祈りと労働を捧げていく生活をしているそうです。観想修道会のブラザーや、シスターたちは自給自足の生活をしているので、このクッキーを販売して得たお金が日々の生活を支えているらしいのです。

また、シスターコーナーで得たお金は、クッキーを仕入れた三つの修道院へ支払いをして、出た純益は、城星学園がその年、援助すると決めている施設や事柄のために使うように金額寄付しているそうです。

フェスタでこのクッキーを買っていただいた方が、このクッキーをめしあがることは、シスターたちの祈りが私たちに届けられるだけでなく、シスターたちの尊い祈りの生活を支えているということです。シスターのクッキーは城星の生徒や先生達にはよく知られていますが、より多くの来校者がクッキーのことを知り、シスターの祈りが届くことを願っています。

高一 M・Y